2019 年 11 月 15 日

令和元年 8 月九州豪雨に伴う 災害ボランティア・NPO 活動サポート募金
（災害ボラサポ・8 月九州豪雨）
第 1 回助成決定にあたって

はじめに

令和元年 8 月 28 日から続いた「令和元年 8 月の前線に伴う大雨災害」では、九州地方や岡山県など広範囲に渡って、河川の氾濫や洪水等の被害が発生しました。

この豪雨災害により亡くなられた方々に心よりお悔み申し上げます。また被害を受けられた方々には謹んでお見舞い申し上げます。被災された方々と被災地域の復旧を心よりお祈り申し上げます。

被害の大きかった佐賀県 5 市町や福岡県筑後市、9 月 3 日に発生した集中豪雨の被害を受けた岡山県新見市において、災害ボランティアセンターが開設されました。ボランティアグループや NPO 等による、家財道具の搬出や家屋内外の清掃等の緊急支援や被災された方の生活復旧に係る支援活動が行われるとともに、鉄工所から大量の油が流出した佐賀県の大町町では、その油の除去作業等の活動も専門的な技術を持つ NPO によって展開されました。

こうした状況を受けて、赤い羽根の中央共同募金会では、被災地で活動するボランティアグループ、ＮＰＯ等を資金面で支援するため、「8 月九州豪雨に伴う 災害ボランティア・NPO 活動サポート募金（災害ボラサポ・8 月九州豪雨）」を実施することとしました。

11 月 7 日、災害ボラサポ・8 月九州豪雨の第 1 回目の助成先を決める運営・審査委員会（以下委員会）を開催し、31 件、合計 1,299 万円の助成を決定いたしました。

被災地では、被災者の生活再建に関する取り組みが必要とされている状況ですが、本助成を活用し、被災地の問題解決の一助となることを期待しております。

１．第 1 回応募状況と助成決定状況

9 月 9 日から開始した第 1 回目の助成公募では、34 件、合計 1,477 万円の応募がありました。

今回の応募では、一番多かった活動内容は被災家屋等の片づけ補助でした。続いてボランティアセンター、避難所の運営支援、ボランティアのための資機材や物資の運搬・提供でした。

その活動地域は、全体の応募の 33.3%が佐賀県武雄市、22.2%が佐賀県大町町、ついで佐賀県佐賀市が 18.1%、佐賀県多久市が 11.1%、佐賀県小城市が 6.9%となりました。他にも福岡県や岡山県での活動についても申請がありました。被災規模が大きかった佐賀県の武雄市、大町町では、床上・床下浸水等の被害が多く、使えなくなった家財道具の片づけや家屋のゴミ出し、床下の清掃を行う団体からの応募が多くみられました。

活動団体の所在地は、17 都府県にわたり、全国から支援団体が被災地に駆けつけていました。最も多かったのは熊本県（16.1%）ですが、ついで兵庫県 12.9%、東京都、福岡県 9.7%となっており、九州・関西地方に所在する団体が今回の災害に係る支援にあたっていることが伺えます。

２．選考にあたっての考え方

第１回の選考では、応募要項に記載したとおり、「審査にあたって重視する点」として、以下の7項目に重点を置き審査を行いました。

①目標や問題意識が明確になっているか
②プロジェクトを実施するための手法が明確で適切か
③さまざまな人たちの参加と協力が得られているか
④災害ボランティアセンター等現地の団体や現地に拠点を置く団体と連携や協働により活動を行っているか
⑤被災地で暮らす人たちの潜在的な力を引き出し、高めていこうとしているか
⑥被災地での新しい社会的事業・活動へと発展する可能性があるか
⑦「この先」を意識した活動であるか

また、発災時からの活動から遡っての助成も行うこととしており、活動団体や現地の状況を確認するため、必要に応じて聞き取り調査を別途させていただきました。

３．今後の予定について

8月九州豪雨の被災地では、被災者の生活基盤を支えるための支援が今後も求められています。

そこで災害ボラサポ・8月九州豪雨にいただいたご寄付に加え、災害を特定しない「災害ボラサポ全般」に寄せられた寄付金も活用して、被災者の生活再建や被災地の支援ニーズを継続的に調査する活動などを支援するため、第1回目の助成決定団体に対して追加助成の公募を行うこととしました。

また、2019年度では8月九州豪雨災害だけでなく、台風15号や19号に伴う災害によって、東日本の広範な地域で多くの被害をもたらしました。引き続き、災害ボラサポでは、全国でさまざまな規模や形の災害が多発していることに鑑み、災害発災時の助成に加え、平時の防災に関する取り組みなども助成できるよう、しくみや体制を整えたところです。

最後となりましたが、発災直後より全国の個人・企業の皆さまより多くのご寄付をいただきましたが、災害ボラサポ・8月九州豪雨については、資金が不足している状況です。2019年12月31日(火)までご寄付の募集をしていますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

今回、助成が決定した団体の皆さまにおかれては、寄付者の方がたから託された貴重な財源による助成であることを理解いただき、有意義な活動を展開されるよう望みます。

災害ボランティア・NPO活動サポート募金　運営・審査委員会
委員長　　山崎　美貴子